

22年度予算を可決

今回の議会には、平成22年度一般会計・各特別会計の予算が提案されました。予算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計および後期高齢者医療特別会計を賛成多数で、また、その他の特別会計については全会一致で可決しました。

町長が予算案を提出

22年度予算編成にあたり、町長からは「歳入では、町税の徴収率は前年度水準を維持すること。財源確保に向けた努力を行うこと。歳出では、行政評価に基づき、事業の見直し、廃止および縮小に取り組むこと。各種補助金については、補助対象団体の自立化を促進し、補助金の必要性と効果を見極め見直しを行い、廃止・縮減を進めること。」などを各担当に指示したとの説明がありました。



石塚町長が予算案を説明

予算特別委員会で審査

町側からの提案を受けた議会では、直ちに予算特別委員会を設置し、委員長に尾作武夫議員、副委員長に齋藤成宏議員を選出。上野議長を除く16名により、3日間にわたって審査を行い、延べ289件の質疑がありました。

本会議では、一般会計予算について、賛成・反対の討論が行われ、起立採決の結果、賛成13名、反対3名で可決しました。また、後期高齢者医療特別会計予算については、大坪議員から反対討論が行われ、賛成16名、反対1名で可決し、他の9件の特別会計予算については、全会一致で可決しました。



委員会での審査の様子

おもな新規事業

- ・町制施行70周年記念事業
- ・住宅用環境配慮型機器購入費助成
- ・福祉バス運行委託
- ・児童・生徒国内交流事業委託
- ・海外留学奨学資金等支給
- ・子ども手当

おもな建設事業

- ・(仮称)長岡コミュニティセンター新築工事(第一期)
- ・(仮称)元狭山広域防災広場整備工事
- ・三小校庭芝生化工事設計
- ・五小、二中耐震補強工事
- ・国民体育大会競技施設整備工事

各会計の予算額

会計名	予算金額	前年度比
一般会計	133億8,960万0,000円	3.6%増
特別会計	国民健康保険	38億7,411万9,000円 8.8%増
	駅西土地区画整理事業	7億9,344万3,000円 35.8%増
	下水道事業	12億2,147万8,000円 5.0%増
	老人保健医療	143万0,000円 66.8%減
	介護保険	15億2,859万2,000円 4.6%増
	後期高齢者医療	4億3,057万2,000円 8.3%増
	殿ヶ谷財産区	459万0,000円 20.9%減
	石畑財産区	1,750万9,000円 19.7%減
	箱根ヶ崎財産区	728万4,000円 2.5%減
	長岡財産区	63万7,000円 4.5%減



起立採決の様子(本会議)

一般会計予算における予算特別委員会質疑のピックアップを次ページ以降に掲載しております。

反対

大坪 国広議員

「社会が担う」理念で始まった介護保険制度、10年目を迎え認定者数も約3倍となった。保険料・利用料の町独自の軽減策を実施すべき。子ども医療費完全無料化に向けて、通院1回200円の助成と所得制限撤廃を実施すべき。子どもを貧困と格差から守るため、更なる父母負担軽減策を実施すべき。栗原地区の区画整理は、新駅の見通しも不明確で、一時凍結するべきである。

賛成

森 巨議員

経済不況で法人税等の落ち込みはあったが、固定資産税はほぼ例年並の計上であった。これは、これまでの都市計画の成果である。歳出では、福祉バスなど新規事業や経常的な事業に対して、財源を国や都に求めるなど歳出抑制に努めていた。今の「つけ」を子や孫に負わせないための努力が認められる予算であったと評価する。齋藤議員からも賛成討論がありました。

一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。(要約)